

若浜の子ども



令和3年2月19日第14号

おにたのぼうし



2月10日(水)の「いのちの日」は、節分にちなんで「おにたのぼうし」(文 あまんきみこ、絵 いわさきちひろ)を題材にして講話をしました。「おにたのぼうし」は昨年度まで3年生の国語の教科書に載せられていた作品です。恵まれない家庭の女の子を思いやる「おにた」の気持ちが、せつなくいじらしく、いわさきちひろさんの絵とともに、いつまでも心に残る作品です。

この作品の中で、おにたは、心の中でこうつぶやいています。

にんげんって、おかしいな。おには わるいって、きめているんだから。おにも、いろいろあるのにな。にんげんも、いろいろいるみたいに。

私たちの社会にある、偏見や差別に対して、おにたの言葉を借りて作者のあまんきみこさんが警鐘を鳴らしているように私は感じます。子どもたちには、「おにだから悪くて、人間だったらいいの？ いいか悪いかはやっていることで決まるんじゃないですか？」と問いかけました。(作者はこんな取り上げ方は望んでいないのでしょうか。)

「おにたのぼうし」の絵を描いた、いわさきちひろさんの作品展が3月14日(日)まで酒田市美術館で開催されています。作品だけでなく、いわさきちひろさんの生涯や作品の背景などもわかる展示がされています。

観覧料：中学生までは無料、一般 700 円 休館日：月曜日

開館時間：午前9時～午後5時(最終入館は午後4時30分)



本当にお世話になっています



2月9日（火）、学校付近まで登校してきた児童が、途中で帽子を落としたことを、安全サポーターさんに伝えました。安全サポーターさんたちは、正門前から緑町方面に向かい通学路に落ちているはずの帽子を探してくださいました。帽子が発見された場所は東大町でした。帽子を見つけてもらい、子どもは笑顔、そしてサポーターさんも笑顔。春の訪れを待ちわびるこの時期に心温まるエピソードでした。

足育ってご存じでしたか？

長靴のバーゲンを期待して、靴屋さんに行った時のことです。年長と思われる女の子とご両親がズックのサイズで店員さんとお話していました。この親子連れが帰った後で店員さんとお話したところ、近年子どもの足のトラブルが増えているとのことでした。（外反母趾、扁平足、足の幅が広がっている、足の小指が浮いているなど）そして、その原因の一つに適正サイズよりも大きいシューズを履いていることがあるというお話でした。インターネットで検索してみると、「足育（そくいく）研究会」、「足育（あしいく）先生」など足の健全育成のためのサイトがありました。10歳までがとても大事な時期だそうです。これらの足に関連するサイトは一見の価値あります。



若っ子の活躍

全国読書感想文コンクール山形県審査

○ 入 選 1年 本間悠花

酒田市書写作品展

○ 奨励賞	6年 阿部 映太	池田 紗奈	5年 住石 帆花	井澤 歩花
	4年 清川さくら	中川 礼菜	3年 守屋 里緒	鈴木亜花璃
	2年 五十嵐 希	池田 夏穂	1年 佐藤 汐里	阿彦 栞

文集 酒田の子ども

○ 奨励賞	6年 佐藤 綾乃	5年 佐藤 千華	4年 小澤 良太
	3年 高橋あおい	2年 渡部 陽翔	1年 中川 結月

